

## 胃がん検診（職域）

### 動 向

胃X線検査による胃がん検診受診者数は1994年までは増加傾向にあったが、その後は現在までほぼ横ばいとなっている。これは、胃X線検査が日常臨床で使用されることが少なくなったことや、読影医が減少していることなどが原因の1つと考えられている。そのため、胃内視鏡による検診や、より簡単な検査として、ペプシノーゲン検査やヘリコバクターピロリ抗体検査によるリスク層別化の検診（ABC検診など）が普及しつつある。従来の胃がん検診ガイドラインにおいては、死亡率減少効果が認められたものは胃X線検査のみであった。今回2015年4月に国立がん研究センターより、有効性評価に基づく胃がん検診ガイドライン2014年度版が公表された。それによると胃X線検査に続き胃内視鏡検査も対策型検診、任意型検診ともに胃がん検診として「推奨する」となった。ただし、胃内視鏡検査の死亡率減少効果についての評価研究をさらに進める必要と、偽陽性、過剰診断、偶発症などの不利益に関する検討が必要であるとコメントされている。一方、ペプシノーゲン検査（単独法）、ヘリコバクターピロリ抗体検査（単独法）、ペプシノーゲン検査とヘリコバクターピロリ抗体検査の併用法はいずれも対策型検診において「推奨しない」のみであった。リスク層別化と内視鏡あるいはX線を組み合わせた検診の死亡率減少効果に関する評価研究が必要とコメントされている。

### 方法・結果

日本消化器がん検診学会より「新・胃X線撮影法ガイドライン 改訂版（2011）」が発行され、当協会でも、そのガイドラインに基づいて胃X線検診を行っている。間接X線検診者には、対策型検診撮影法を、直接X線検診者には、任意型検診撮影法を行っている。

胃癌X線検診受診者は、56,359名であった。その中で、当協会の間接X線検診、精密検査（内視鏡検査）まで行う予定の団体群（間接Aグループ）は12,955名、間接X線検診のみ行う予定の団体群（間接Bグループ）は36,656名、直接X線検診、精密検査（内視鏡検査）まで行う予定の団体群（直接Aグループ）は1,390名、直接X線検診のみ行う予定の団体群（直接Bグループ）は5,358名であった。がん発見数（胃がん+食道がん）は、全体で10名であり、前年度の6名を大きく上回っていた。

当協会でも精密検査を行っているうちの間接Aグループで解析してみると（表1参照）、要精検者数は467名、要精検率は3.6%で、前年度の要精検率

4.2%と大きな変化はなかった。精検受診者は250名、精検受診率は53.5%で、前年度の精検受診率50.9%と、こちらも大きな変化はなかった。がん発見数は3名で、がん発見率は0.023%、陽性的中率は0.64%であった。前年度は、がん発見率は0.017%、陽性的中率は0.40%で、両者とも前年度よりやや上回っていた。

日本消化器がん検診学会による平成24年度消化器がん検診全国集計（表2）によると、職域検診における要精検率5.9%、精検受診率43.2%、がん発見率0.030%であった。当協会の成績は、精検受診率はやや高いものの、要精検率、がん発見率ともに、やや低くなっていた。全国集計の陽性的中率を計算すると0.51%となり、当協会は0.64%とやや上回っていた。

1次内視鏡検診の実施数は男性1,166名、女性461名、合計1,627名であり、前年度の1,012名の6割増しとなった。がん発見数は1名で変わりはない。「動向」で述べたように、内視鏡検査が胃がん検診において「推奨」となったことから、内視鏡検診は今後さらに増加していくものと考えられる。当協会でも、内視鏡数の増加に対応できる体制づくりが必要となる。

表1 胃がん検診（職域 間接Aグループ）  
年度別要精検率・精検受診率・がん発見率

	26年度	25年度	24年度	23年度	22年度
受診者数 N	12 955	12 021	13 803	14 732	24 731
要精検者数 X	467	505	747	996	1 199
要精検率 X/N (%)	3.6	4.2	5.4	6.8	4.8
精検受診者数 Y	250	257	460	498	340
精検受診率 Y/X (%)	53.5	50.9	61.6	50.0	28.4
がん発見数* Z	3	2	4	9	9
がん発見率 Z/N (%)	0.023	0.017	0.029	0.061	0.036
陽性反応的中度 Z/X (%)	0.64	0.40	0.54	0.90	0.75

\*胃がん+食道がん

表2 地域・職域検診別の検診成績  
平成24年度消化器がん検診全国集計より

	地域検診	職域検診	計
検診数	2 560 982	3 425 765	5 986 747
要精検者数	219 092	202 222	421 314
要精検率	8.6%	5.9%	7.0%
精検受診者数	174 024	87 309	261 333
精検受診率	79.4%	43.2%	62.0%
発見胃癌数	3 958	1 027	4 985
発見率	0.155%	0.030%	0.083%

関係の集計表は77頁に掲載